

1. インターバンク市場

2/8~12の無担保コールO/Nは、週を通して落ち着いた推移となった。当座預金残高が250兆円前半と引き続き高水準で推移する中、系統・地銀・信託・証券から週を通して大玉条件の0.07~0.075%ビッドが入り、ロットに応じて0.065~0.075%程度の出合いが見られた。また、地銀数行から付利金利を超える水準での試し取りが散見されたことで、11日までの無担保コールO/N加重平均レートは0.072~0.073%での推移となった。ターム物に関しては、2月16日以降のマイナス金利適用を見込み、証券業態のロール案件は若干のレート低下となった一方、地銀や一部信託からの調達は2W~1M程度の期間で0.001%と大幅にレートが低下した。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、10日に3M・8,000億円がオファーされ、期落ち分が1,141億円あったものの、前回に引き続き応札は無かった。

2/15~19のインターバンク市場は、15日に源泉所得税揚げ、年金の定時払等があり大幅な余剰、18日に20Y発行で不足日となることが見込まれる。当座預金残高は250兆円台の半ばから後半となることが予想される。無担保コールO/Nは、15日は0.07%前後の出合いが中心になると見られる。16日以降は大幅なレート低下になることが予想されるものの、マイナス金利にシステム対応できていない参加者も多く、ひとまずは0.001%近辺の取引が中心になると考えられる。主要なイベントとしては、15日の10-12月期のGDP1次速報等が挙げられる。

2. オープン市場

2/8~12の短国市場は、16日以降の動向が不透明な中、様子見の姿勢が強く、売り買いの気配が乖離し続ける出合い難い地合いとなった。新発の入札は、8日に6M物、10日に3M物が実施された。6M物については、WI取引で▲0.185~▲0.18%の出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1743%、按分落札利回▲0.1603%の結果となった。3M物については、WI取引で▲0.15%の出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1335%、按分落札利回▲0.1102%の結果となった。3M・6M共に過去最低水準を更新したものの、慎重な応札姿勢が反映された結果となった。12日には短国買入オペが1兆7,500億円がオファーされた。業者の在庫に荷もたれ感があつたためか、平均利回較差+0.028%、按分利回較差+0.015%の小甘い決着となった。

2/8~12のCP市場については、10日および15日にかかる発行があり、鉄鋼、商社などからの大型案件も見られたが、償還総額6,300億円程度に対して発行総額は4,800億円程度にとどまるなど、償還超となった。発行体の資金需要が頭打ちになっている一方で、マイナス金利導入を控えて投資家・ディーラーの玉確保ニーズは底堅く、発行レートについては、格付や発行期間の違いに因る格差が縮小し、全体的に極めて低位で推移した。a-1格銘柄で0.01%近辺が中心となっており、一部の銘柄に関しては、0.0001%やそれを下回るレベルの発行案件も見られた。旺盛な運用ニーズを反映し、現先レートも大幅な低下となった。

2/15~2/19の短国市場及びCP市場は、マイナス金利導入後の16日以降の市場レートが注目される。短国市場では、17日に1Y物、18日に3M物の入札が予定されている。又、CP市場は、16日に日銀のCP買入オペのオファーが予定されているが、足切水準がマイナス圏に入ることも考えられ、結果に注目したい。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,200億円程度の発行超見通し。財政等要因は、15日の年金定時払い、源泉税揚げ、2Y発行超過、18日の20Y発行等があり、2兆7,200億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆6,000億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<15日>TB3M;償還45,600億円・発行45,000億円 / 2Y;償還12,700億円・発行25,000億円 / 個人向け3Y・5Y・10Y;発行1,800億円 / 個人向け3Y;償還300億円 <16日>流動性供給;発行5,000億円 <18日>20Y;発行12,000億円

2016年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オベ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
2/15(月)	800	47,200	48,000	全店共通(固) 国債買入 CP買入 国債補完供給	Δ 1,100 Δ 600 200	9,700	8,200	56,200
2/16(火)	0	Δ 5,000	Δ 5,000	短国買入		17,500	17,500	12,500
2/17(水)	0	Δ 1,000	Δ 1,000				0	Δ 1,000
2/18(木)	Δ 1,000	Δ 12,000	Δ 13,000				0	Δ 13,000
2/19(金)	Δ 1,000	Δ 2,000	Δ 3,000	CP買入		3,500	3,500	500
週間合計	Δ 1,200	27,200	26,000		Δ 1,500	30,700	29,200	55,200

(注) 上表の2/15は日銀予想、2/16以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
2/15(月)	10-12月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50) 12月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 12月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)		米国祝日(Presidents' Day)
2/16(火)		20Y 12,000億円 2/18発行	1月の英消費者物価指数
2/17(水)	12月の機械受注統計(内閣府 8:50)	TB1Y 25,000億円 2/22発行	1月の米生産者物価指数 1月の米住宅着工件数 1月の米鉱工業生産・設備稼働率
2/18(木)	福岡県金融経済懇談会にて石田審議委員講演 1月の貿易統計(財務省 8:50)	TB3M 45,000億円 2/22発行	5Y 25,000億円 2/22発行
2/19(金)		交付税借入 10,500億円 2/29借入	1月の米消費者物価指数

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入